令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課
担当名：みどり復活・保全担当
内線：3151

（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B38	身近な緑の保全事業費	一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費

事業期間	平成 4年度～	根拠法令	ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例	宣言項目	
				分野施策	051245 みどりの保全と再生

1　事業概要

本県の平地林は減少の一途をたどっており、30年間で6,514ha減少した。これは、東松山市の面積に相当する規模である。平地林の減少に歯止めをかけるため「埼玉県広域緑地計画」の施策を展開し、計画的に保全を図る必要がある。

そこで、相続税納付のためなどにより売却・開発が行われてしまう緑地(景観地等)を市町村と協力して公有地化し保全する。また、市民団体等が継続的に保全管理活動できるよう支援する。

（1）身近な緑公有地化事業　△21,499千円
（2）里の山守活動支援事業　△614千円

2　事業主体及び負担区分

（県10/10）

3　地方財政措置の状況

（1）地方債　一般単独事業（地域活性化事業）
（2）地方交付税（包括算定経費）　（区分）企画費
（細目）環境保全対策費（細節）環境保全対策費
（積算内容）地域の実情

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×1.8人＝17,100千円

5　事業説明

（1）事業内容

ア　身近な緑公有地化事業（4月～3月）　135,805千円　→　114,306千円
公有財産購入費など

イ　里の山守活動支援事業（4月～3月）　2,182千円　→　1,568千円
緑地保全活動に対する補助

（2）事業計画

ア　身近な緑公有地化事業
適宜適切に公有地化を行い、樹林地の保全を図る。

イ　里の山守活動支援事業
市民団体等が継続的に活動できるよう助成し、樹林地が良好な状態に維持されるようにする。

（3）事業効果

市町村と協力して緑地を保全することにより、豊かな自然を次の世代に引き継ぐことができる。

ア　公有地化により保全できる緑地面積　令和元年度　3.1ha（予定）
イ　活動支援により保全できる樹林地の面積　令和元年度　6.2ha（予定）

（4）県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

ア　身近な緑公有地化事業
市町村と連携し公有地化し、取得後の土地を市町村が管理する。

イ　里の山守活動支援事業
市民団体等は支援期間内に保全管理に関する体制を確立し、支援終了後も引き続き樹林地の管理を行う。

（5）補正予算の概要

ア　一部の公有地化予定地について、土地の価格が見込みを下回ったことによる減額　△21,499千円
イ　補助予定団体数が見込みを下回ったことによる減額　△614千円

予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
		繰入金	県債						
決定額	△22,113	△2,113	△20,000					0	115,874
現計額	137,987	15,987	122,000					0	